

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学 期
選択科目	2 単位	スタディツアー I	渡邊淳子	1 年次	秋

授業のキーワード	日本人の神、仏教、公と私、再生
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	国際化が多角的に進む現代社会では、その流れに押され、ともすると自分というものを見失いがちになります。この授業では、日本の古代史に関わる伊勢、奈良を訪れ、様々な史跡や文化財に触れることにより、日本文化の原点を見つめなおし、どのような文化的営為を経て、現在があるのかを考察していきます。
履修のアドバイス・ 前提科目等	「日本の伝統文化」、「美術」、「日本の歴史」等を並行して履修することが望ましい。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	導入	このスタディツアーの目的、授業の方法などを概説します。	第 9 講	奈良の寺院④	興福寺、薬師寺、新薬師寺など、奈良にある主だった寺社の成立と、その文化財について見ていきます。
第 2 講	日本史における奈良の位置	平城京を中心とする奈良の歴史を見ていきます。	第 10 講	伊勢の歴史	伊勢神宮がどのようにして出来、現在にいたっているかを、主に遷宮という観点から見ていきます。
第 3 講	奈良の史跡①	奈良地方に造営された都について学びます。	第 11 講	伊勢参り	伊勢参りの歴史、意味、伊勢の町並みなどについて学びます。
第 4 講	奈良の史跡②	都の跡が現在どのように発掘され保存されているか見ていきます。	第 12 講	スタディツアーガイドンス	旅程、研修中の諸注意などを確認します。
第 5 講	奈良の史跡③	天皇陵や石造群について学びます。	第 13 講	スタディツアーガイドンス	第 12 講に同じ
第 6 講	奈良の寺院①	最古の寺院といわれる飛鳥寺とはどのようなものだったのか学びます。	第 14 講	スタディツアーガイドンス	第 12 講に同じ
第 7 講	奈良の寺院②	法隆寺がなぜ建てられ、いかなる意味を持つ寺院だったのかを考え、又、その文化財について見ていきます。	第 15 講	スタディツアー実施前の最終確認	スタディツアーに出発する前に、参加者各自の問題意識を確認します。
第 8 講	奈良の寺院③	東大寺、唐招提寺の成立意味について検討し、その文化財について見ていきます。	評 価 方 法		授業出席 30%、スタディツアー参加 50%、レポート 20%
備 考 (関連する資格・試験等)		特になし。将来学芸員を目差そうとする人の一助になると思います。			
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
特に指定せず、その都度、参考書を紹介します。			『岩波講座 日本通史』 岩波書店 『見る 読む わかる 日本の歴史』 朝日新聞社		